

今月の一言:天気の乱高下により、土建事務所内も組合役員さん達も風邪気味です。野丁場群の皆さん、ご自愛くださいね。

## 大手企業交渉で企業側が言っている事は本当か？

### 「だったら一次事業所に聞いてみよう」行動の途中結果

実際に現場で働く東京土建の組合員から出された要望を、春と秋の大手企業交渉でぶつけています。しかし企業側は「一時事業所を通じて適正に対処している」と答えています。本当に一次に徹底しているのかを聞き取ったところ、下記のような様々な実態が寄せられています。

「追加工事について元請が示す単価以上の金額が出ず指値で行われている」「再設計による追加・変更を下請けに押し付けている」「駐車場代、産廃処分費が確保できない」「他業種を含め現場全体で使用する立ち馬や台車の使用料が差し引かれる」「働き方改革で元請社員と下請で取得する休日が違い、現場を把握している社員が休むと行程が止まる」「残業規制により元請が行う図面チェックを一次が負担し、その費用を請求できない」「人手不足からか、能力不足の監督が多く現場が混乱する」「元請に、“熱中症は防げる、なったやつが悪い”という空気があり体調不良を言いにくい」「書類が煩雑、グリーンサイトやビルディなどを一元化してほしい」「4月の年度更新の際に労災の加入者証がないことで入場させない現場を改善してほしい」…。渋谷支部の仲間からもぜひご意見をお寄せください。

## 資材価格と労務費上昇を訴えるパンフレットを活用しよう！

日本建設業連合会（日建連）は、発注者に対して資材の高騰や労務費上昇などの現状を訴えるパンフレットの内容を更新しホームページで公開しています。パンフレットは、①政府から適正な価格転嫁、工期の確保が求められていること、②担い手確保のため賃上げや労働時間の適正化、生産性向上による就労状況の改善に取り組む必要があること、③改正建設業法により請負代金や工期に関するルールが変更されたことなどを説明。建設技能者の労務単価の上昇率と資材高騰率について一覧も掲載しています。賃金・単価引き上げを請求・要求するための根拠資料として、活用していきましょう。

## 組合員はJAC会員にならずに特定技能外国人の受け入れが可能！

特定技能外国人の受け入れはJAC（建設技能人材機構）の正会員団体への加入または賛助会員としての加入が必要ですが、全建総連が正会員団体のため、東京土建の組合員は賛助会員（年会費24万円）になることなく特定外国人を受け入れることが可能です。受け入れを検討されている事業所は支部までお問合せください。

### 各分会の野丁場群会議の日程

町場群に続き野丁場群も分会ごとに会議・交流会を開催してます。

土建タイムを読み合わせ、現場の状況を交流しましょう。

北部：10月18日 西部：10月18日 東部：10月未定 南部：10月17日

お読みになった方はお名前をご記入の上、渋谷支部までご返送ください 氏名：